



AIは、いつもそばに。人は、いちばん必要なときに。

MAMORI とは

AI 対話アプリと支援員向けダッシュボードで就労定着を支援。

福祉領域の専門家の「対話の技法」を学んだ独自の対話 AI エンジンを搭載しています。

動機づけの対話

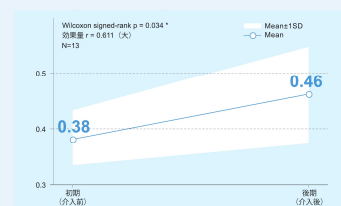
やる気の段階に合わせた受け答え

ベストなタイミングでの介入

一人ひとりに合わせた個別化

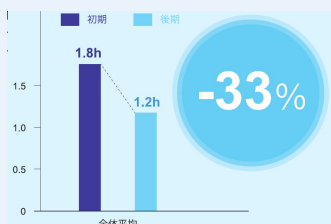
AI 対話の効果

自己効力感の向上

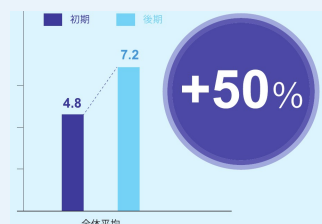


生活リズムの安定化・ストレス対処の変化

起床時間のばらつき (時間)



ストレスへの対処 (点)



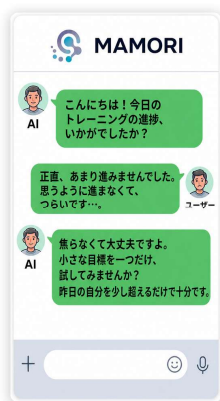
※ セマンティック分析と参加者アンケートに基づく結果です。医学的效果を示すものではありません。

※ 本成果は公益財団法人テクノエイド協会「令和7年度 自立支援機器を活用する就労支援プロジェクト」の成果として公表されています。
URL: https://www.techno-aids.or.jp/shuro_support2025.shtml#part0

MAMORI の構成

利用者は対話アプリで、支援員はダッシュボードで。

1
利用者は対話アプリで AI と対話、日々のセルフケアやスキルアップに取り組めます



タイトル: 職場復帰プラン (リワーク個別支援計画・改訂版)

第1チーム: 生活リズム再構築期 (1-4週)

目標: 起床・就寝時刻を固定し、日中に就寝している時間を1日6時間以上確保する

期間: 1-4週

QXからの働きかけ:

- 毎朝、決めた時刻に起床し、起床・就寝時刻と気分を記録します。
- 睡眠と気分の関係を確認し、無理のない目標を一緒に決めます。
- 朝の光を浴びるなどの具体的な行動を手順で示し、試してもらいます。
- 1週間ごとに記録を振り返り、できた日との違いを確認します。



2
個別支援計画に基づいたサポートプランをAIが自動生成します

3
支援員はダッシュボードで利用者の状態を把握し、進捗管理に活用します

※ 本製品は開発中です。画面・機能・名称・提供時期は変更される場合があります。本製品は医療機器ではなく、診断・治療を目的とするものではありません。

※ 本製品は NEDO「SBIR推進プログラム」(厚生労働省の政策課題「障害者の自立や社会参加を促進する汎用的な支援機器の開発」)の支援を受け、中央大学文学部・高瀬堅吉教授(心理学)の監修のもと、研究倫理審査の承認を得たうえで就労支援施設における実証を実施し、有効性を検証します。

本資料は研究開発段階のご紹介資料です。機能・仕様は変更となる場合があります。

株式会社キゾティクス

お問い合わせ: info@quixotiks.com

HP



Facebook



LinkedIn

